

第31回群馬県理学療法士学会

ランチョンセミナー フレイルに対する理学療法 ～リハ栄養の視点化から～



協力：森永乳業クリニック

講師：高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科  
(日本栄養・嚥下理学療法学会副理事長) 吉田 剛

医療や介護を受ける対象は入院前から低栄養状態にあることが多く、オーラルフレイルをきっかけとしたフレイル、サルコペニアが生じやすくなっている。我々はまず対象者の栄養状態を評価し、さらにその栄養を口から摂取するために必要な口腔・嚥下機能、唾液嚥下による嚥下性肺炎などの基本的リスクなどを評価する必要がある。インとアウトのバランスを考え、栄養状態に合わせた運動療法を提供することや、運動後の栄養補給などにも積極的に関わっていくといったリハ栄養の取り組みを理解し、実践していくことがこれからの理学療法に求められている。

本セミナーでは、リハ栄養の視点からフレイルに対する理学療法の考え方について解説する。